

# 調査と情報

編集・発行  
 (株)農林中金総合研究所基礎研究部  
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3  
 TEL. 03-3243-7331  
 FAX. 03-3270-2233

期待や願望をよそに、実態は、各分野にわたって中央一極集中が続いている。

巷に「ふるさと再生」キャンペーンがあふれ、I、J、Uターンの潮流がみえても、それは都市優位の現代社会の構図を左右するほどのものではない。その流れを過大評価するのは危険である。

それそれは注目に値しても、いまだ大河でも奔流でもない。日本の人口の割以上は東京に集中しているのが現実だし、圧倒的多数の若者たちは首都をめざすのだ。幻想は排しておかなくてはならない。

なぜそうなのか。実は、今日の地方へと向かう細流などは、政治経済の構造的枠組みのなかにすでに丸ごと吸収されていて、誇大宣伝めく評価は、かえって現代社会の矛盾を隠蔽する作用すら果たしてしまうのだ。状況は決して甘くない。

公正な社会の実現とは対極にある強者の論理を弱者「庶民の側で見抜かない限り、「地域」は相対的に劣位に置かれ、さらに空洞化は進行する。そこでどうするか。方向は明白である。まず、意識の自立である。中央へすり寄り、おこぼれ頂戴的なエゴイステックな発想の拒否である。これはしかし、なかなかむずかしい。個別の利害に固執したり抜け駆けを試みる人々がいる限り、結果的に地域は疲弊すると知るべきだ。売名行為的施設投資や、安易な工場などの誘致策では、環境破壊と人身の荒廃、住民意識の分断という最悪の

## 地域活性化の誤謬

結果を招きかねない。実はそれは、さらなる一極集中と中央支配を生み出す悪しき循環だと、早く気づきたい。そして、地域の共存共栄を目指すという位置に立つこと、住民自らの意志的な組織を形成することである。

さて、同じような条件の地域であるのに、活力の違いが歴然としてある場合がある。その中に立ち入ってみると、多分そこには中心となる人物がいて熱心に活動しているのはむろん、その活動をささえる一体化した組織があり、継続した優れた企画が実践されているはずだ。

「活性化」というと、外部からコンサルタントを入れ、安易に企画書を作りたがる傾向がある。専門家知識と経験は貴重だ。しかし他人頼みはしよせん他人頼み。最もよく地域を知る住民自らが真にその気にならなくて、活力が生じるはずもない。自己の地域の魅力の再発見と継続的な情報の発信、それに戦略的な「営業活動」の展開である。なにも金をかけて大層な仕掛けを組む必要などない。金ではなく知恵を出し合いたい。

景気回復の実感には程遠く、相変わらず大局より眼前の利害に付くお寒い政治状況が続いている。安閑としてはいられない。庶民の暮らしに立脚した政治経済のあり方を実現するために、自らの手による地域の活性化は待ったなしである。

(主席研究員 平井 隆)

も	地域活性化の誤謬..... 1	ぶっくレビュー	
く	地域づくりとメディコ・ポリス構想..... 2	『地域経営と内発的発展』..... 9	
じ	今、協同組織金融を考える..... 3~4	あぜみち..... 10	
	農協の女性組織再編の動向と活性化の課題..... 5~6	虹のかけ橋..... 11	
	都市と農村交流の新しい拠点を目指して..... 7~8	統計の眼「米価の低下と大規模稲作農家の所得」..... 12	
		編集後記..... 12	